

1 基本方針

- 式典会場内に、お手植え所、お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 参加者(代表者以外)の記念植樹は、とっとり花回廊いやしの森及び国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森の各植樹会場で行います。
- 植樹行事は、鳥取県の気候風土に適した樹種の植栽等、地域特性に応じた森林づくりを目指します。
- 種子の採取から育成、植えつけまでの各行為を植樹ととらえ、森林づくり活動の拡大につなげていくきっかけとなるように、多様なボランティア、子どもたち、高齢者、障がい者などを含む、できるだけ多くの県民や、「とっとり共生の森」参画企業等が参加できるようにします。
- 多くの方が植樹活動に参加できるよう、全国植樹祭開催後に自由植樹の期間を設けます。
- 県内で採取した種子を使って、「苗木のスクールステイ・ホームステイ」により子どもたちや企業・団体等が育てた苗木や、生産者が育成した苗木を使用します。
- 植樹会場は、永続的な県民運動の活動の場として、県民誰もが森林や自然にふれあい、学習、体験などができる森をつくります。

会場	位置	内容		面積	本数等
式典会場	お手植え所	お手植え	天皇皇后両陛下	—	6本
	お手播き所	お手播き			4種
	中央・県外特別招待者席	代表者記念植樹	招待者の代表	—	50本程度 (50人程度)
	県内特別招待者席				
植樹会場	とっとり花回廊いやしの森	参加者記念植樹		3.4ha	4,500本
	国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森			0.4ha	500本

2 お手植え計画

○天皇皇后両陛下のお手植えは、お手植え所で「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。

○樹種は、鳥取県の自然条件にあった在来の樹種の内、高木性を中心に県民に親しみのあるものとし、両陛下にそれぞれ3種類の植樹を賜ります。

○お手植えされた記念樹は、森林づくり運動のシンボルとして、大切に管理・育成します。

天皇陛下
お手植え樹種



アカマツ
(とっとりパワー松)



スダジイ



コナラ

皇后陛下
お手植え樹種



ヤマボウシ



ウワミズザクラ



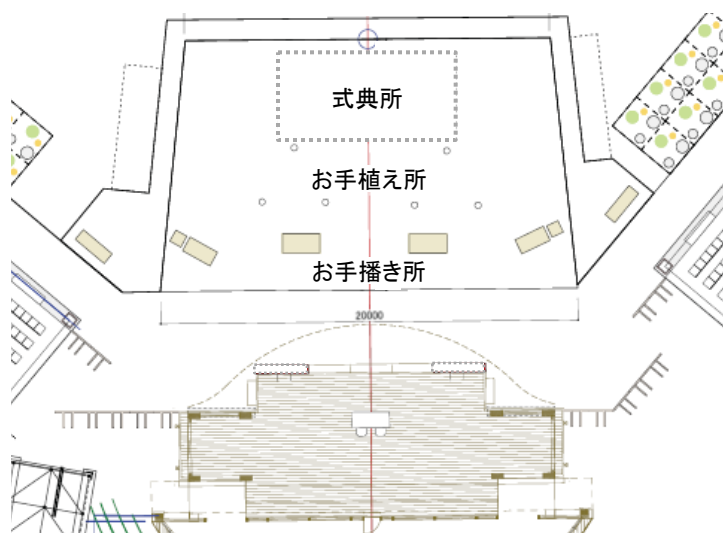
ホオノキ

3 お手播き計画

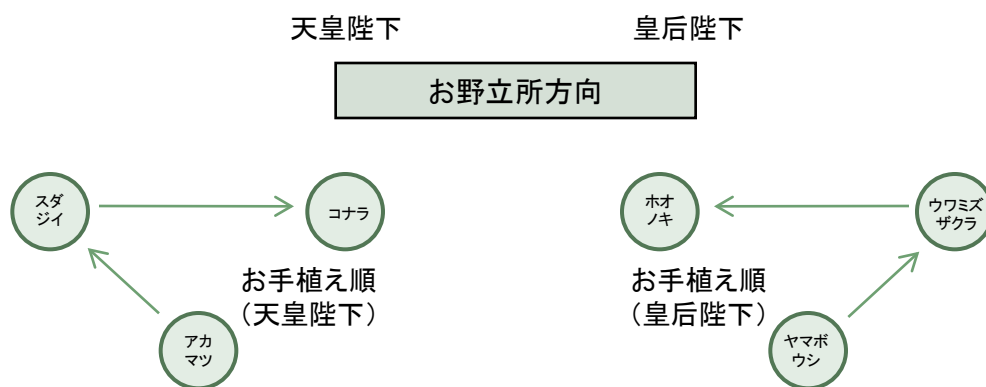
- 天皇皇后両陛下のお手播きは、お手播き所で、お手播き箱へそれぞれ2種類の播種とします。
- お手播きの種子は、鳥取県の自然条件にあった在来の樹種の内、高木性を中心に県民に親しみのあるものとしてします。
- お手播きされた種子は鳥取県が管理・育成し、県内公共施設等に広く「記念樹」として配布し、植樹いただきます。

<p>天皇陛下 お手播き樹種</p>	 <p>ヤマザクラ</p>	 <p>クリ</p>
<p>皇后陛下 お手播き樹種</p>	 <p>イロハモミジ</p>	 <p>ヤマガキ</p>

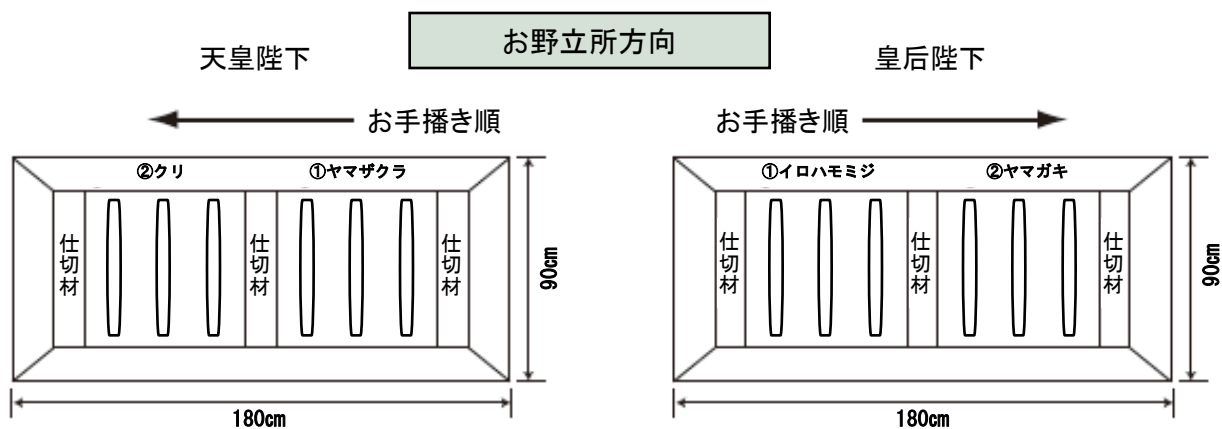
〔お手植え所・お手播き所配置図〕



【お手植え樹種配置】



【お手播き樹種配置】



4 代表者記念植樹計画

- 参加者代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- 場所は、特別招待者席前で行うものとし、それぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 植樹は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 参加者の代表は、中央特別招待者、県内外の特別招待者の中から50人程度とします。

5 森林づくりの方向性と参加者記念植樹計画

(1) 森林づくりの将来イメージと植樹計画

- とっとり花回廊いやしの森及び国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森の各植樹会場で、地域特性等に合わせて選定された樹種を、未来の森をイメージしながら一人1本以上植樹いただきます。
- 植樹会場の一区画に、「とっとり共生の森」参画企業の協力で、「とっとり連携の森」の植樹を行います。
- とっとり花回廊いやしの森では、第64回全国植樹祭に参加した子どもたちが、記憶を永くとどめ、学習に役立てもらうよう、展示植栽スペースを用意し、県木や市町村木等特別な樹種の植栽を行います。
- 植樹用苗木は、県内の児童等、県民が育てた苗木も使用し、植樹後は、みどりの少年団、ボランティア等が手入れを行い、その様子を全国発信します。

〔とっとり花回廊いやしの森／国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森の将来イメージ〕

●交流の森



- 四季の彩りを感じられる樹木を植栽
- イヌシデ、イロハモミジ、ウワミズザクラ、クロモジ、ホオノキ、マユミ、ムラサキシキブ、ヤブツバキ、ヤマガキ、ヤマザクラ、ヤマボウシ、ヤマモモ

●体験の森



- 果実等が小動物や鳥、昆虫の餌となる樹木を植栽。多様な生き物が生息する森とする。
- アオハダ、アカガシ、アベマキ、アラカシ、エゴノキ、エノキ、コナラ、クリ、シラカシ、スダジイ、ヤマガキ

●学習の森



- 子どもたちがメモリアルとして、県木や市町村木等県内の代表的樹木を植栽。観察・学習展示林とする。
- アカマツ、ヤブツバキ、ヤマガキ、ヤマザクラ、ダイセンキヤロボク、県内市町村の木

●生活の森



- 暮らしの中で、薪炭、シイタケ原木、用材として利用可能な樹木を植栽。下刈や落ち葉かき作業等で下層を整理。
- アカガシ、アラカシ、ケヤキ、コナラ、シラカシ、スダジイ

(2)参加者記念植樹樹種

〔とっとり花回廊いやしの森/参加者記念植樹樹種(25種程度)〕

アオハダ	アカガシ	アカマツ	アベマキ
アラカシ	イヌシデ	イロハモミジ	ウワミズザクラ
エゴノキ	エノキ	クリ	クロモジ
ケヤキ	コナラ	シラカシ	スダジイ
ホオノキ	マユミ	ムラサキシキブ	ヤブツバキ
ヤマガキ	ヤマザクラ	ヤマボウシ	ヤマモモ

※50音順に記載

〔国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森 /参加者記念植樹樹種(20種程度)〕

アオハダ	アズキナシ	イタヤカエデ	ウリハダカエデ
ウワミズザクラ	オオカメノキ	クリ	クロモジ
サワグルミ	タニウツギ	ツノハシバミ	トチノキ
ナナカマド	ブナ	ホオノキ	ミズキ
ミズナラ	ミズメ	ヤマボウシ	

※50音順に記載

(3)参加者記念植樹スケジュール

〇とっとり花回廊いやしの森では、午前・午後に分かれて、国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森では、午前に植樹していただきます。

区分		植樹会場	グループ	植樹概要
特別招待者	県外招待者	いやしの森	午前植樹	バスで宿泊施設から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
			午後植樹	バスで指定集合地から式典会場へ向かい式典に参加。式典終了後、徒歩にて植樹会場へ移動する。
	県内招待者	いやしの森	午前植樹	バスで宿泊施設または、指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
			めぐみの森	午前植樹
一般招待者	県外招待者	いやしの森	午前植樹	バスで宿泊施設から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、徒歩で式典会場の入場ゲートに向かう。
			午後植樹	バスで指定集合地から式典会場へ向かい式典に参加。式典終了後、徒歩にて植樹会場へ移動する。
	県内招待者	めぐみの森	午前植樹	バスで宿泊施設から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入場ゲートに向かう。
			いやしの森	午後植樹
		めぐみの森	午前植樹	バスで指定集合地から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再びバスで式典会場の入場ゲートに向かう。

6 植樹会場整備計画

(1)とっとり花回廊いやしの森

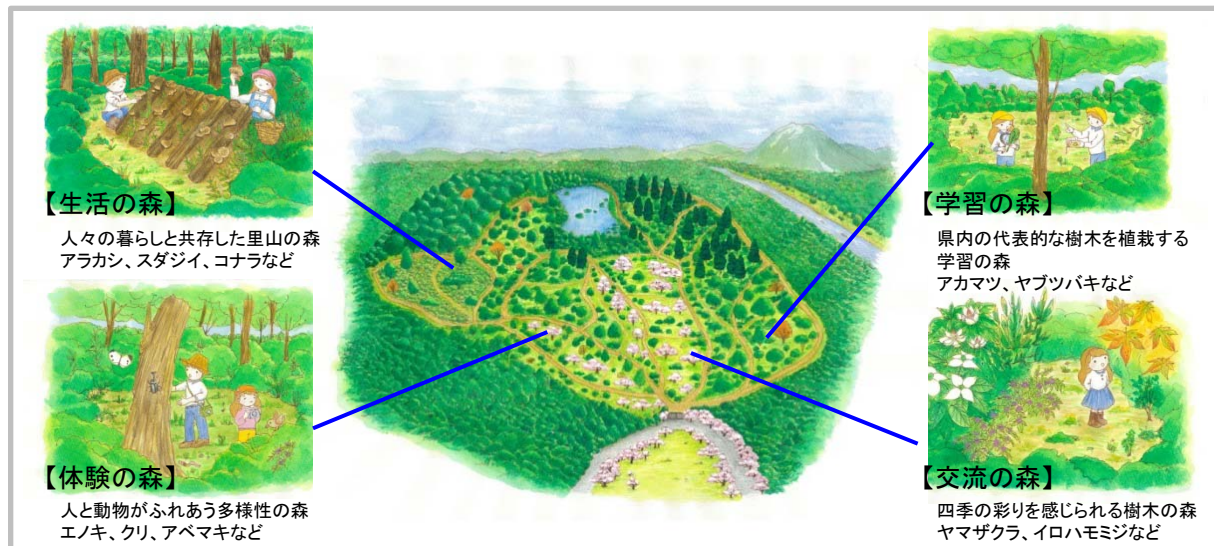
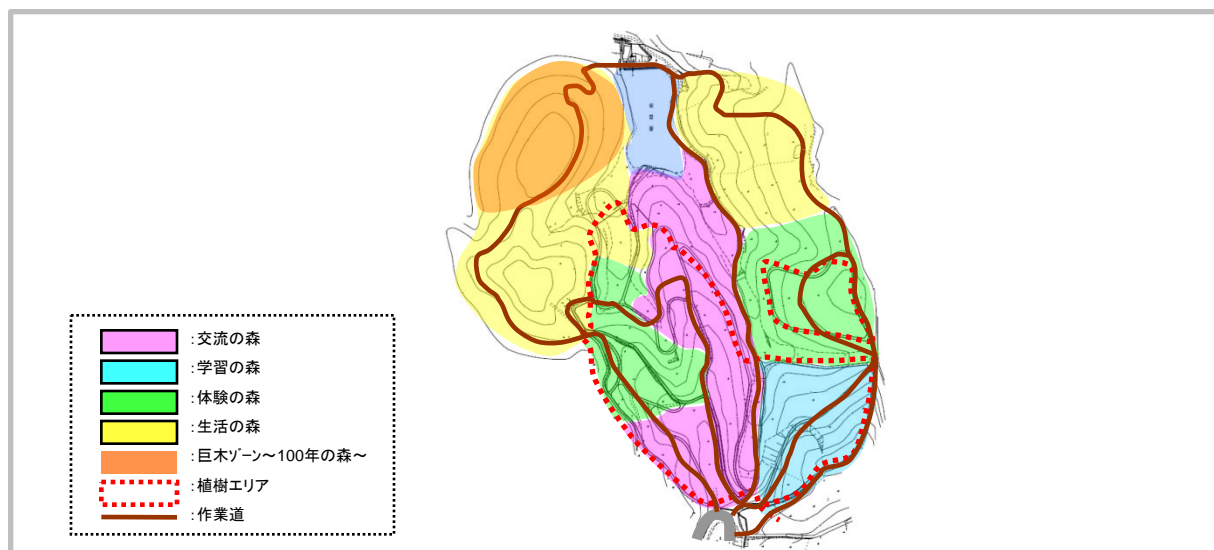
【現状】

里山利用(木立や枝葉・下草を、家庭用燃料や肥料として採取利用)が行われなくなったため、草木が乱雑にしげった「やぶ」状態になっています。

【整備計画】

- 現地の植生を踏まえ、いやしの森全体を将来イメージの4つのゾーンに区分します。
- 会場は、薪、木炭、シイタケ原木となる木立や枝の採取、堆肥となる落葉や下草の採取、野生キノコやクリ等の果実の採取、四季折々の美しい花木の観賞、野鳥の観察、カブトムシやクワガタ等昆虫の観察等の場として利用可能であり、これら「里山のめぐみ」の体験フィールドとしての森林づくりを進めます。
- やぶを整理し、植栽が必要となった区域を植樹会場に設定し、多様性を保ちながら各ゾーンにふさわしい植栽樹木を選定します。
- 巨木に囲まれ多様性の高い区域は、現状のまま自然林として生かします。
- 植樹祭時は参加者の動線を確保し、開催後は体験活動のサポートを図るため、地形に沿った環境に優しい鳥取式作業道による軽車道と間伐材チップをマルチングに活用した歩道を整備します。

〔将来イメージ〕



(2) 国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森

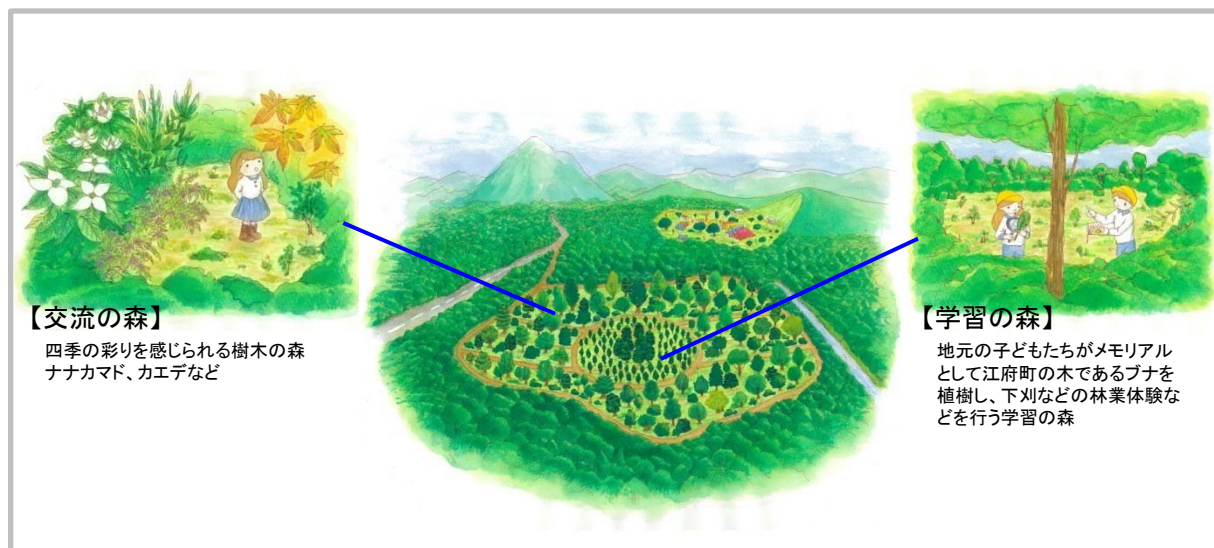
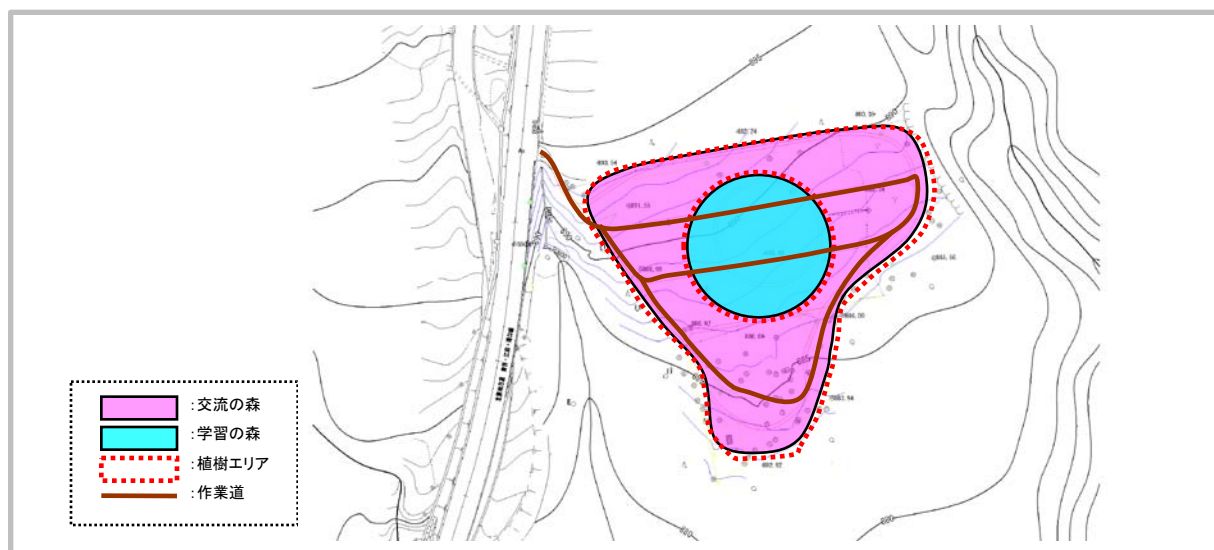
【現状】

戦後の開墾地が放置され、一面のススキ野原となり、現状のままでは幼樹の侵入が困難なため森林への復旧が困難な原野となっています。

【整備計画】

- 現地周辺の植生に配慮しつつ、ススキに覆われた原野を森林へ早急に戻す森林づくりを考えます。
- 地元で始まっているブナの森づくり活動を展開する場として位置づけ、森林を2つのゾーンに区分します。
- 区画全体の刈り払いを行い、ゾーンの区分けも兼ねた作業道及び歩道を整備し、中央に地元小・中学校の森林体験活動を行うゾーンを設置。これと外周の森林をつなぐ区域を植樹会場に位置づけます。
- 植栽木の植樹木は、現地適性の高いナラ類とし、ミズナラ、ブナ、ホオノキ、トチノキ、ミズキ、カエデ類等を混植します。
- 中央のゾーンは、子どもたちが種から育てたブナの苗木を毎年継続的に植栽し、下刈など森林活動体験を行います。

【将来イメージ】



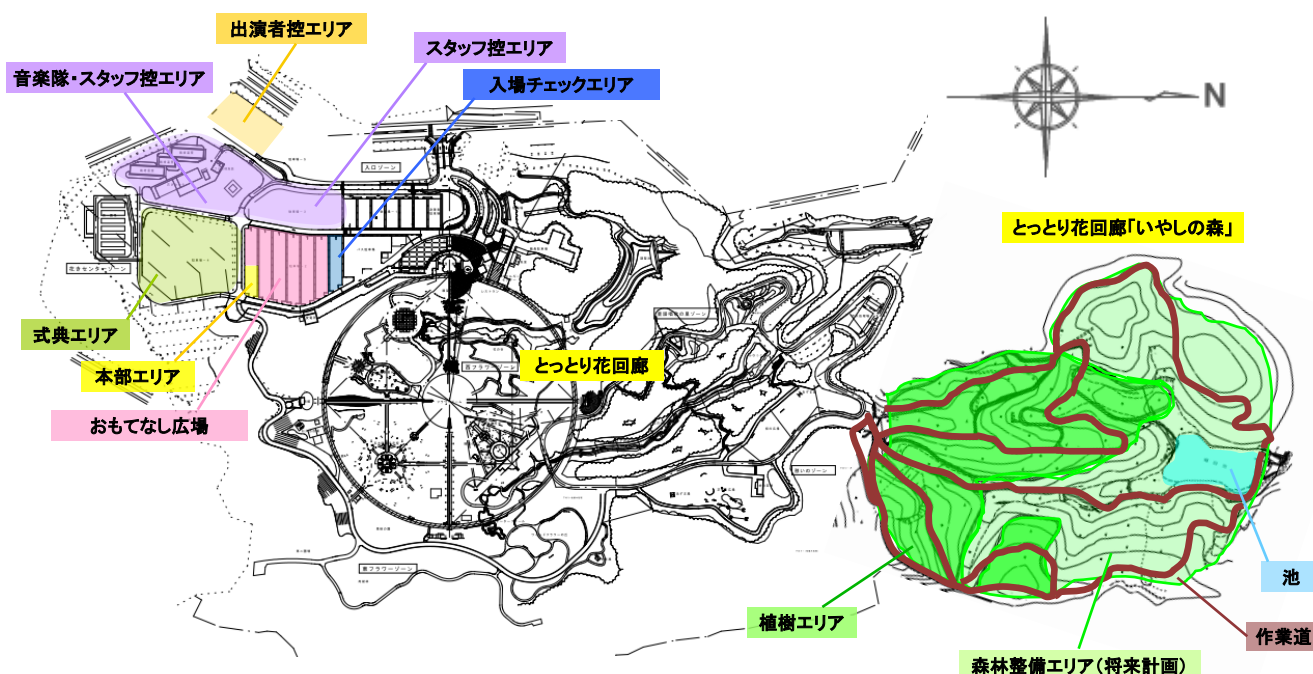
1 基本方針

- 第64回全国植樹祭の開催理念や健全な生態系の維持などを様々な視点から検討し、樹木の伐採、土地の掘削・造成など、自然環境に負担をかけないよう、今の地形を有効に活用し、経費の節減を図りながら整備します。
- 出来るだけ跡地利用も考慮に入れた整備を検討します。
- 全参加者が、安全で使い易い快適なデザインとします。
- 仮設物等の整備は、県産材をふんだんに使用し、木の香る会場づくりとします。



2 施設配置計画

(1) 会場周辺状況



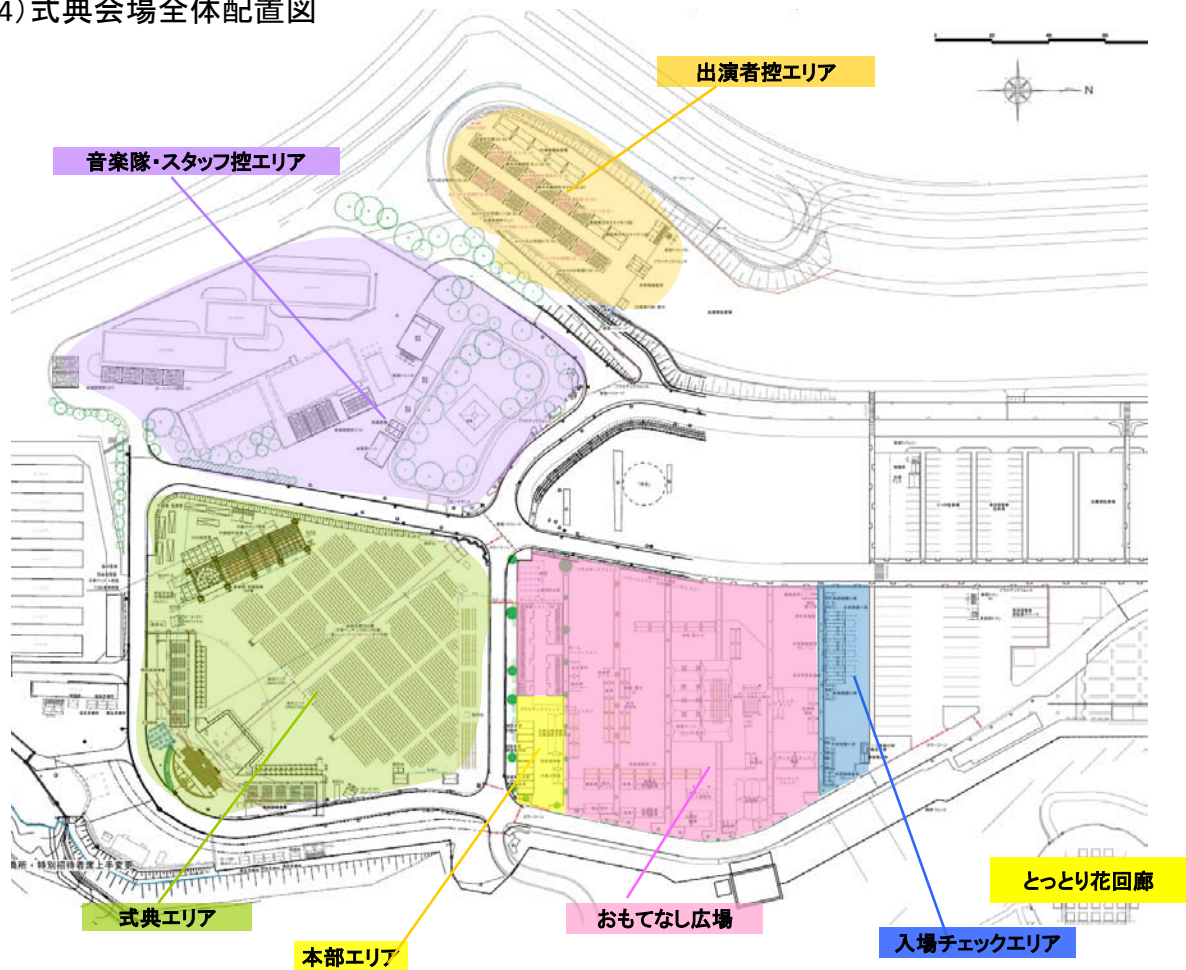
(2) 式典会場イメージ図



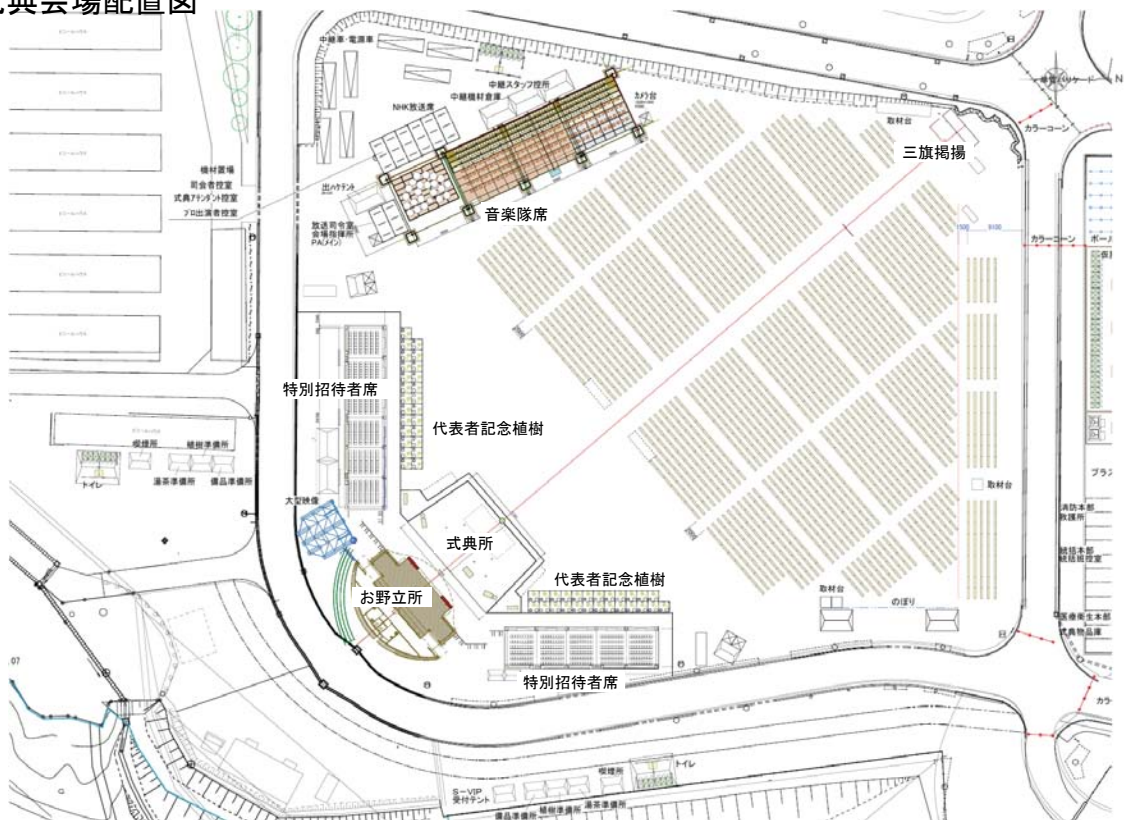
(3) 飾花イメージ図



(4) 式典会場全体配置図



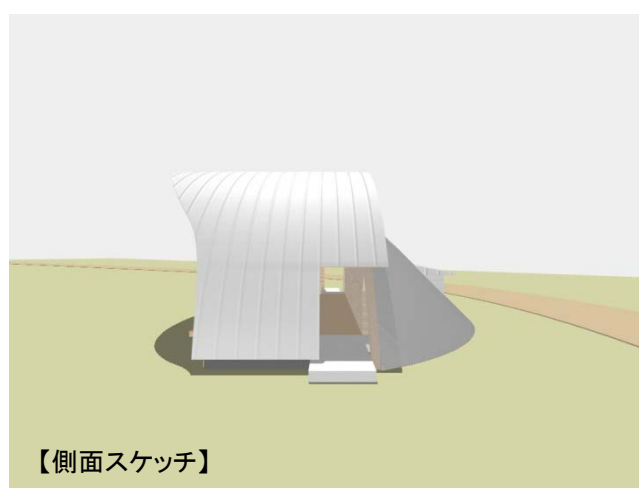
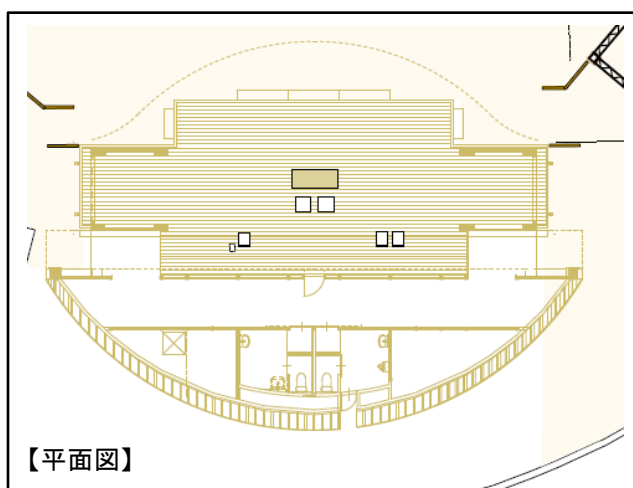
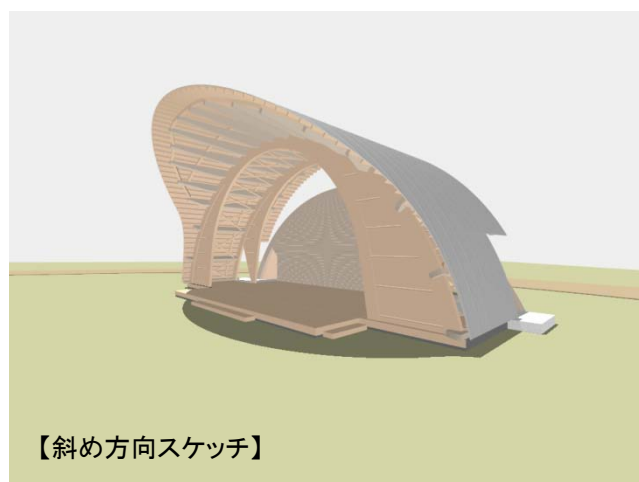
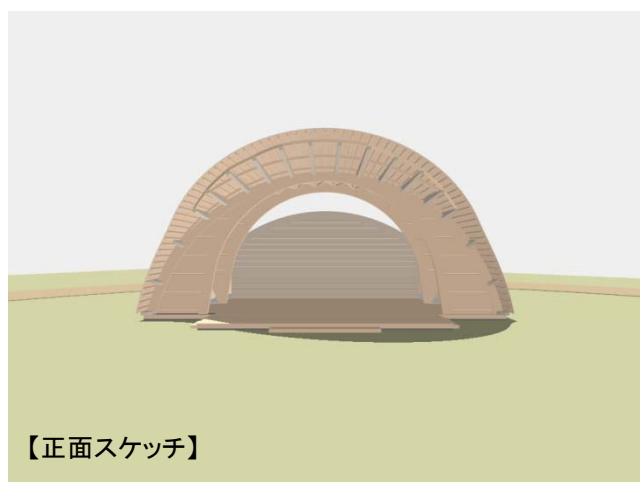
(5) 式典会場配置図



3 主要施設計画

(1) お野立所

- 天皇皇后両陛下の御歩道はウッドチップにて仮舗装します。
- 大空への飛翔をイメージした木製アーチ型架構を取り入れ、十分な強度を確保するとともに、花回廊の既存施設と一体感を持たせます。
- 県産材の特性を生かした構造・配置とし、登降しやすい床高や採光に配慮したデザインで木造建築のすばらしさをアピールします。
- 全国植樹祭開催後は、メモリアル施設として県民に親しんでいただくため、永久構造物としての強度と、屋外ステージとしての機能を持つ構造とします。



4 サイン計画

○参加者が安全かつスムーズに植樹行事、式典に参加することができ、移動に支障がないように分かりやすい案内サインを設置します。

○サイン・展示には、県産材を活用するなど、環境に配慮した資材を使用します。

○「鳥取の歴史・カラー」を表現したテーマカラーで統一したデザインを施します。

- ・鳥取らしさのデザインキーワード: 弥生／鳥／花々／木の文化
- ・弥生時代の人々が愛した色、弥生時代の身近な風景の色をテーマカラーと設定します。

① 藍色



② 茜色



③ 緑色



5 飾花計画

○会場周辺の飾花は、県内高校生が育成した花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、参加者の安全かつ円滑な動線が確保できるように配置します。

○お野立所まわりは、とっとり花回廊のメインフラワーである「ユリ」と鳥取県の花「二十世紀梨の花」を中心に初夏を彩る草花でいっぱいになります。

○お手植え会場及び式典会場内に設置するプランターに関しては、間伐材などの県産木材を使用します。

○鳥取県をはじめ、関係市町村、関係団体、県民が一体となり、花飾りや美化に努めます。

○プランターへの植え込みは、単一種で飾花します。

6 電気・給排水・通信設備計画

(1) 電気設備計画

○会場内で使用する電源は、仮設電源(ジェネレーター等)で対応します。

(2) 給排水計画

○水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理をします。

(3) 通信設備計画

○運営を円滑にするため、実施本部等に臨時電話(有線)等を設置するほか、携帯電話、トランシーバー等の無線通信機器を適正に配置します。

1 基本方針

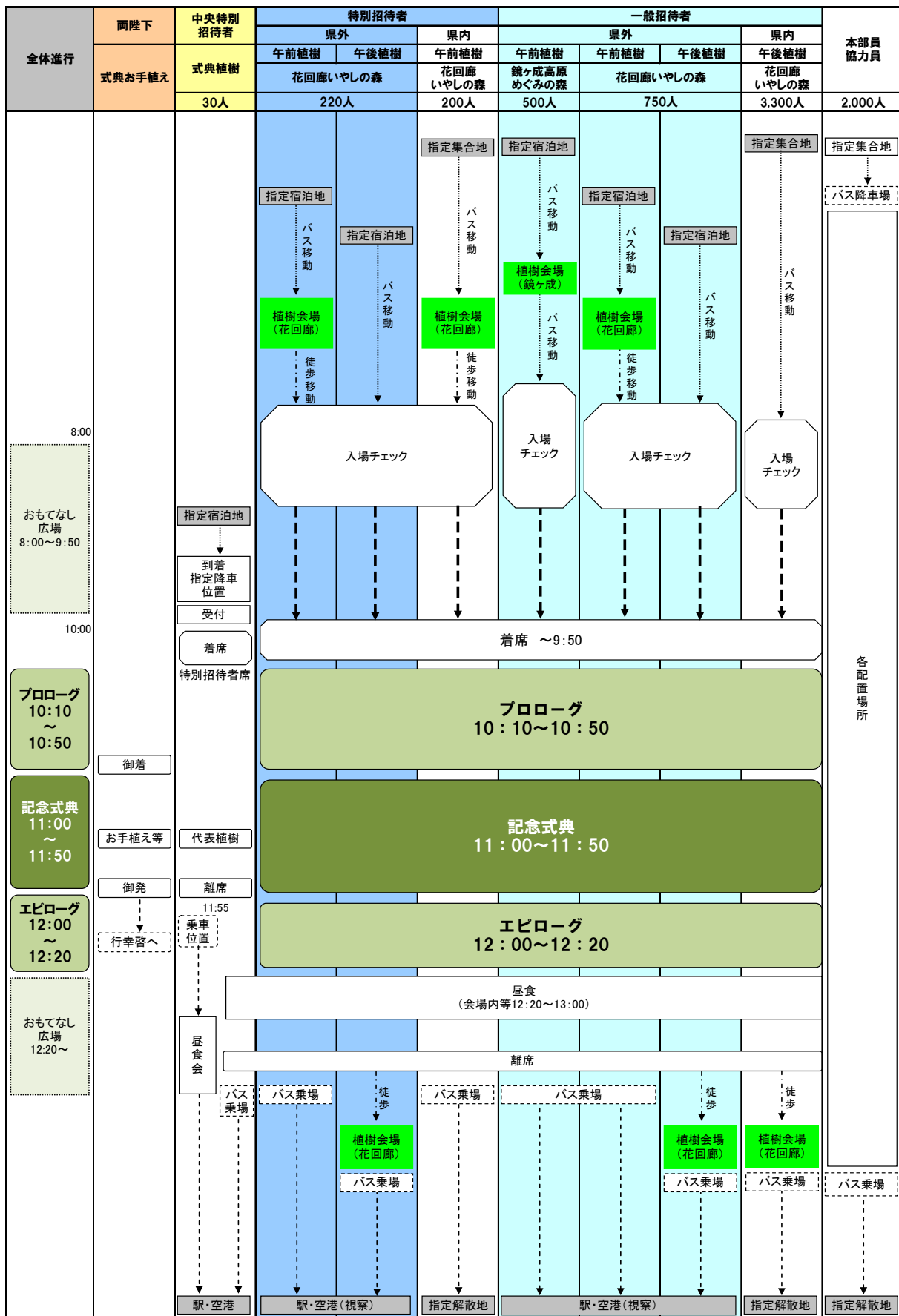
- 第64回全国植樹祭への参加者を「おもてなしの心でお出迎え」し、開催意義や理念を伝える機会とします。
- 全国植樹祭の運営には、市町村、林業関係団体、NPO法人及び各種ボランティア団体などの協力が必要不可欠であることから、実施については各団体の意向を踏まえ、しっかりと連携します。
- 「おもてなしの心でのお出迎え」は、観光関係者等と協力します。
- 参加者が安全・快適・清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

2 招待計画

- 招待者は「県外招待者」と「県内招待者」に区分します。
- 「県外招待者」は、公益社団法人国土緑化推進機構理事長と鳥取県知事との協議によって定める者及び各都道府県知事の推薦による者とし、公益社団法人国土緑化推進機構会長と知事の連名で招待します。
- 「県内招待者」は、実行委員会会長の推薦による者、県内各市町村長の推薦による者、県民公募により選定する者とし、知事が招待します。

区 分		人数	備 考
中央特別招待者①		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、林野庁長官、鳥取県知事、県議会議長、次期開催県知事、開催町長、公益社団法人国土緑化推進機構理事長等
特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議長等
	県内特別招待者	200人	県議會議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等
	小 計②	420人	
一般招待者	県外一般招待者	1,250人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	3,300人	県内の森林・林業関係者、みどりの少年団の代表及び県内公募による一般県民等
	小 計③	4,550人	
招待者小計(①+②+③)		5,000人	
本部員・協力員④		2,000人	実施本部員、出演者、運営ボランティア等
合計(①+②+③+④)		7,000人	

3 参加者行動計画



- ・とっとり花回廊いやしの森で植樹いただく県外招待者は、午前植樹又は午後植樹となります。
- ・県内招待者の一部は、国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森での午前植樹となる場合があります。

4 受付計画

(1) 全国植樹祭招待者受付

- 前日に宿泊する招待者は、宿泊施設到着時と当日バス乗車時に受付及びチェックを行います。
- 宿泊しない招待者は、当日バス乗車時に受付を行います。
- 式典会場入場時、入場チェックを行います。

(2) レセプション受付

- 前日に開催されるレセプションの受付は会場入り口で行い、入場時、入場チェックを行います。

区分	受付場所	受付時間	受付内容
中央特別招待者 特別招待者	会場入口	会場入場前	名簿の確認、会場案内

(3) 招待者に配布する記念品等

- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、鳥取県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に発信するため、記念品等を配布します。

5 作品御覧・レセプション計画

(1) 作品御覧

- 緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第64回全国植樹祭ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

- 〔主催〕 公益社団法人国土緑化推進機構、鳥取県
- 〔開催日時〕 平成25年5月25日(土曜日)
- 〔会場〕 両陛下の宿泊施設内
- 〔招待者〕 緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者(6名)
第64回全国植樹祭ポスター原画作者(1名)

(2) レセプション

- 天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第64回全国植樹祭の開催県として、招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

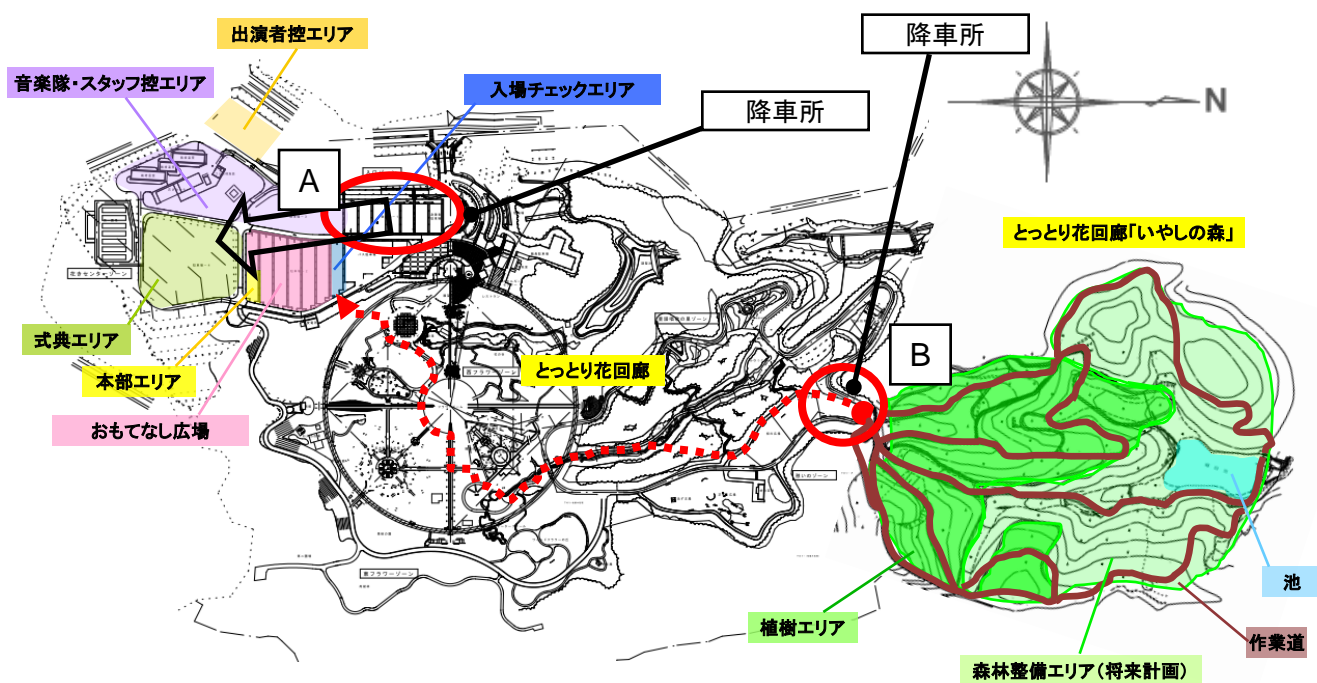
- 〔主催〕 鳥取県
- 〔開催日時〕 平成25年5月25日(土曜日)
- 〔会場〕 両陛下の宿泊施設内
- 〔出席者〕 350名程度
 - ・中央特別招待者(国務大臣、新潟県知事及び県議会議員、公益社団法人国土緑化推進機構会長等)
 - ・県外特別招待者(緑化功労者、県選出国會議員、中央団体の長、中央省庁関係者等)
 - ・県内特別招待者(緑化功労者、県議会議員、市町村長、実行委員会委員等)

7 会場内動線計画

(1) 午前

A(午後植樹): 降車所から式典会場へ

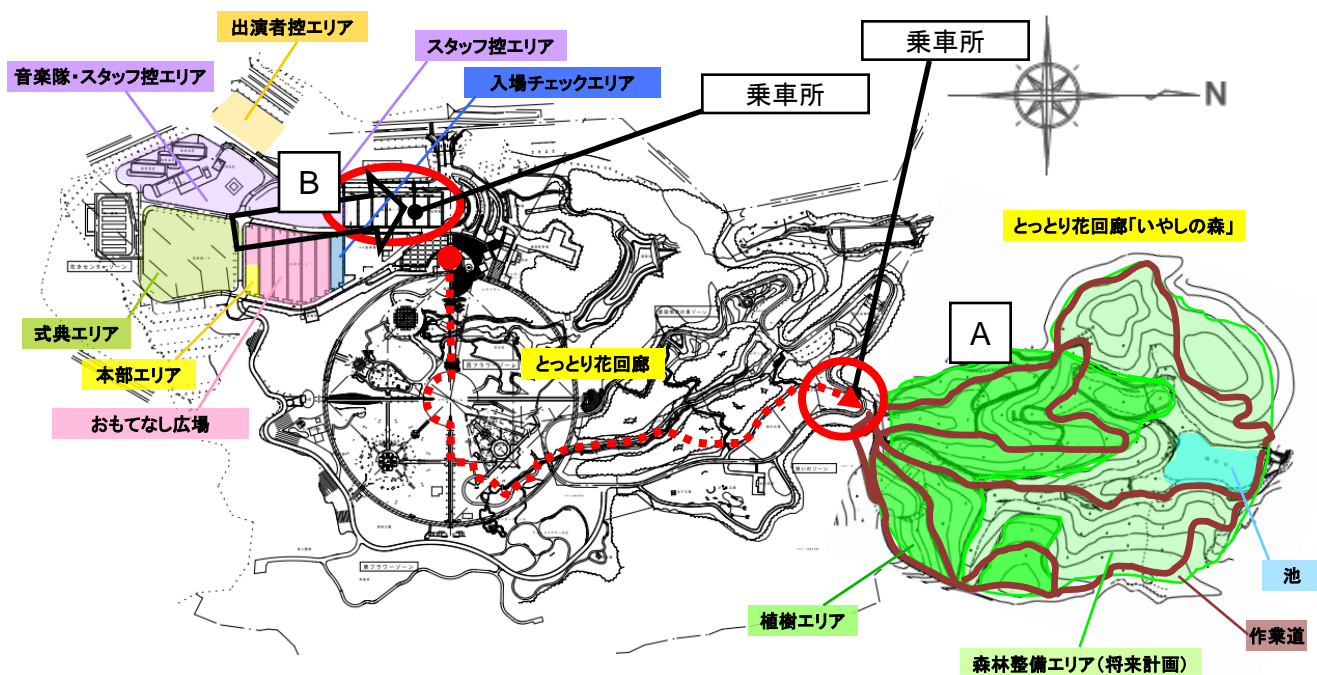
B(午前植樹): 降車所から植樹会場へ、植樹後式典会場へ



(2) 午後

A(午後植樹): 式典会場から植樹会場へ、植樹後乗車所へ

B(午前植樹): 式典会場から乗車所へ



※植樹(花回廊)会場と式典会場の徒歩移動について、車イスでの参加の方については、別途移動方法について配慮する予定です。

7 会場おもてなし計画

(1) 会場内のおもてなし

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心・安全・快適に利用できるよう、総合案内所や、湯茶接待所、救護所、仮設トイレなどを整備します。
- 鳥取県の森林づくり活動や観光、県産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売の専用ブースなどを関係団体の協力により運営します。
- 体験型のイベントを開催し、鳥取県の人々と県外からの来場者とのふれあいを創出します。
- おもてなしステージでは、鳥取県を代表する歌や踊りの賑やかな演目を実施します。
- 湯茶接待コーナーを「お招き茶屋」とネーミングし、鳥取のお菓子とお茶でおもてなしします。
- おもてなし広場の運営にあたっては、出展者等との協力により、廃棄物の減量化に取り組むとともに、飲食物の提供において環境に配慮した容器を使用するなど、環境に優しい運営に努めます。
- 地域の観光ガイドや地元の大学生などのボランティアにも参加いただき、鳥取県らしい運営を行います。
- 特に県外招待者については、おもてなし広場への滞在時間が十分確保できるよう、輸送計画などを工夫して対応します。

区分	施設名	内容
式典会場 (おもてなし広場)	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待所(お招き茶屋)	参加者に湯茶、ミネラルウォーター、お菓子等を提供
	販売コーナー	鳥取県の特産品や飲食物等を販売
	展示コーナー	鳥取県の森林、林業、観光等について展示紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩テント	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置

〔おもてなし広場施設例〕



販売コーナー



総合案内所



ドリンクコーナー

(2) 会場外でのおもてなし

- 米子駅前だんだん広場でのおもてなしブースなど、県外招待者や一般の方も楽しめる場を設けます。
- 米子鬼太郎空港に案内所を設置し、大会概要案内、宿泊・観光情報などの提供を行います。

8 昼食計画

(1) 昼食会での会食

○中央特別招待者の一部は、式典会場外に別途設ける会場において催される昼食会に参加していただきます。

(2) 弁当による昼食

○弁当の内容等

・鳥取県産食材を盛り込み鳥取らしさを実感できる内容にし、「食のみやこ鳥取県」を広くPRします。

【弁当の愛称】 「食のみやこ鳥取県 森のめぐみ弁当」

【主な内容】 ・鳥取県西部の郷土料理「いただき」

・「蟹ちらし寿司」

・「大山鶏の照り焼き」など

運営上の参加者区分	天候良好時の 弁当配布・喫食場所	悪天候時の 弁当配布・喫食場所	弁当配布時刻
中央特別招待者 (昼食会参加者を除く)	式典エリア (中央特別招待者席)	ハイヤー等車内	エピローグ終了後 (12:20～)
特別招待者	式典エリア (特別招待者席)	計画輸送バス車内	エピローグ終了後 (12:20～)
一般招待者	式典エリア (一般招待者席)	計画輸送バス車内	エピローグ終了後 (12:20～)
出演者等	出演者控えテント等	出演者控えエリア等	随時
実施本部員	本部等エリア等	本部等エリア等	随時
協力員	スタッフ控エリア等	スタッフ控エリア等	随時

9 医療・衛生計画

(1) 医療救護所の設置

○式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。

○救護所には、医薬品や休憩用ベッド等を備えます。

○消防署や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の輸送・受け入れ体制を整えます。

(2) 衛生対策

○保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。

○食の安全を期すため、弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。

○飲料等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、式典会場及び周辺環境美化に努めます。

10 消防・防災・警備計画

(1) 消防・防災

- 実施本部の消防防災担当が中心となり、異常の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所以外はすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 情報の伝達は、混乱を生じさせないよう、参加者に対するルートと実施本部員・協力員等のルートに分けて適切に行い、参加者全員が安全に避難できる体制を整えます。
- 避難については、避難計画を策定し、実施本部員への周知徹底を図るとともに、避難訓練を行い非常時に備えます。

(2) 警 備

- 会場内での事件事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 当日は、警備員、会場警備担当及び協力員を配置して、警備や車両の整理、招待者の誘導を行います。
- 式典会場入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、式典使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

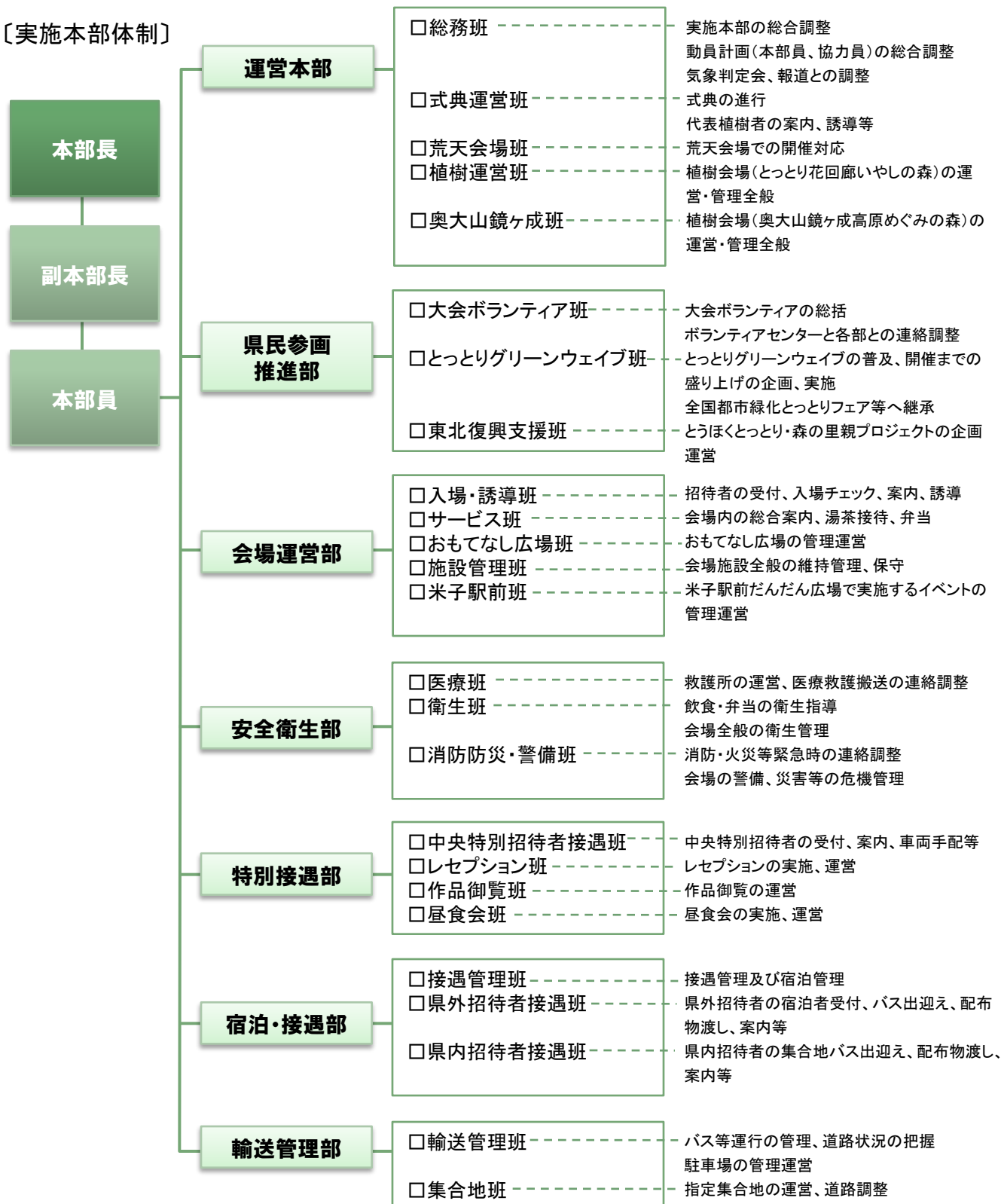
11 実施本部計画

○全国植樹祭の円滑な運営を図るための実行組織として、「第64回全国植樹祭鳥取県実施本部」を設置します。

○効率的な要員配置を行うとともに、ボランティア、開催町職員などの積極的な協力を得て、実施運営の円滑化及び参加者の安全性や快適性の確保に努めます。

＜主な業務＞

[実施本部体制]



12 研修・リハーサル計画

○円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。

○効果的な研修、リハーサルを実施するため、事前に各班ごとの運営マニュアルを作成します。

○リハーサル計画に基づき、実施本部全員が業務の内容を把握できるようにします。

(1) 実施本部員等の研修計画

○実施本部員及び協力員への研修は、事前の資料配付、現地研修、リハーサルへの参加等により行います。

○協力員(関係市町村職員、ボランティア、関係団体の構成員等)の研修は、リハーサルへの参加により実施します。

(2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
①出演者説明会	3ヶ月前	各所	出演者代表	式典概要説明会
②合同説明会	開催 6～5週間前	式典会場 植樹会場	本部員 出演者代表	式典全体の説明
③式典 リハーサル	平成25年 4月6日(土)	荒天会場	出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	式典部分リハーサル
④荒天会場 リハーサル			出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	会場確認及び説明
⑤総合 リハーサル	平成25年 4月14日(日) 【予備日】 平成25年 4月21日(日)	式典会場 植樹会場	本部員全員 協力員(一部) 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、車両、参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他
⑥前日 リハーサル	平成25年 5月25日(土)	式典会場 植樹会場	本部員全員 協力員全員 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、車両、参加者誘導、非常時訓練他

13 雨天時・強風時対応計画

- 雨天時対応マニュアルを作成し、雨天時や強風時にも円滑な運営ができるようにします。
- 晴天時の計画と同じ内容で行うことを基本に、必要な配慮・準備を行います。ただし、雨や風の程度に対応した変更プログラムを作成します。
- プロローグやエピローグは天候に応じ、各出演団体と協議の上、変更内容を決定します。
- 式典音楽隊の音楽が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- 会場警備上、傘の持ち込みができないため、参加者全員にレインコートを事前に配布します。